

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11 (7)	職員会議は職員がリーダーとして運営が行われている。ホームの取り組む課題について委員会を立ち上げ、計画・実践・報告の主体的な活動を行い、業務改善とモチベーションアップに取り組む。	職員による委員会の立ち上げを前向きに進め、業務改善とモチベーションアップに繋げる。	・委員会の立ち上げについて、職員が意見交換し、前向きに検討する。 ・ホームの取り組む課題について主体的に取り組む、志気を高める。	12ヶ月
2	33 (12)	かかりつけ医、在宅診療医、看護師と看取りについて連携を強化していく必要がある。また、家族の看取りの理解を更に深め、看取りケアの実践に繋げる。	看取りケアを進めるための関係者(家族・医師・看護師・介護職員)で話し合い、理解を深めるための機会を持つ。	・家族と懇談会を開催する。 ・個別に話し合う機会をつくる。	12ヶ月
3	35 (13)	夜間火災を想定し、緊急連絡網による近隣職員の招集訓練と夜間勤務職員による避難誘導訓練の実施が望まれる。	夜間における緊急連絡の方法・連絡網による招集訓練及び、夜間勤務職員による避難誘導訓練を実施する。	・夜間を想定した通報・連絡訓練を行う。 ・夜間勤務職員による避難誘導訓練を行う。	12ヶ月
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。